

市議会だより

大月市

令和2年11月30日発行 No.160

特集ページの意見交換会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため延期いたしました。



コロナ感染防止対策をとって
運動会実施

CONTENTS

- ・令和2年第4回（9月）市議会定例会
（議長就任挨拶）…………… P. 2
（主な議案の内容）…………… P. 3～
- ・決算審査特別委員会…………… P. 6～
- ・議決結果等一覧表…………… P. 8
- ・代表質問／一般質問…………… P. 9～
- ・議会日誌…………… P. 16

こんな事が決まりました

9月1日～9月29日（29日間）

萩原剛議長と鈴木章司副議長
の辞職願が提出され、後任に鈴木章司議員が第60代議長に、山田政文議員が第55代副議長にそれぞれ就任いたしました。



第60代議長
鈴木章司



第55代副議長
山田政文

議長就任挨拶

議長就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。このたび議員の皆様のご推挙によりまして、第60代

大月市議会議長の要職に就任させていただくことになりましたことは、身に余る光栄であり、心から感謝、感激している次第でございます。

私は浅学非才であり、十分な能力もなく、皆様の期待に答えられるかどうか不安でございますが、ここに皆様の推挙を受けました上は、身を挺して、ご厚情に報いる覚悟を新たにしているところでございます。言論の府として大月市議会が円満に運営されますよう、不偏不党、公平無私を旨とし、誠心誠意努力してまいります所存であります。

また、新型コロナウイルス対策等、多様化する住民ニーズに応えるよう、執行機関と議会が一体となって本市の発展と住民福祉の向上、子育て、教育の充実を目指し、職責を全う致す覚悟でございますので、重ねて議員各位、執行部の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

鈴木章司新議長 抱負を語る

Q どのような思いで就任しましたか。

A 私は、JR大月駅前朝の挨拶と清掃活動を始めて10年になります。2011年5月に初出馬で「顔を覚えてもらおう」と立ったことがきっかけ。挨拶をしていると、定年退職を控えた大先輩が近寄ってきて「42年間、電車通勤をしている。市議になつたら大月を良くしろよ」と励まされた。頭を下げるとたばこの吸い殻やカップ麺のゴミが目に入った。「気持ちよく、通勤通学してもらいたい」と駅周辺の清掃活動も始めた。議員として自己啓発になっている。議長になって、さらに、市民の皆さんとふれあい、寄り添った議会にして行きたい。また、コロナ感染予防対策をとりながら各団体との意見交換会等を行っていきたい。

Q 本市の最重要課題は。

A 今、コロナ禍において、多様化する住民ニーズに応えるよう、努力していく。そんな中で県は、都心から約1時間の本市を「デュアルベースタウン」として、モデル市に設定しました。テレワークで働いたり、必要に応じて都市部のオフィスに通うサテライトオフィスや住居地の整備等、新しい生活様式に対応できるまちづくりを推進するよう議論していく。来春以降、ビジネスホテルチェーンが、県内最大規模の客室がある新ホテルをオープンさせる予定だ。宿泊場所が少なく、通過地点になっていた駅にホテルができれば観光客が周辺を周遊する流れが生まれると期待し、駅周辺の整備などを進め、観光振興への追い風にしていくよう議論していく。

Q 議会改革については。

A 萩原剛前議長の際に「大月市議会議員定数等調査特別委員会」が設置され、その進捗状況を見守って行きます。また、昨年の台風19号から早1年が過ぎました。災害情報を把握する等、地域の被害情報や必要な支援策等の迅速な把握ができるよう災害対応について、執行部との連携を強化して行きたい。

主な議案の内容

予算（補正）

◎令和2年度 大月市一般会計補正予算（第5号）

新型コロナウイルス感染症への対応のため、緊急に執行を要する経費の追加の補正を行いました。

・季節性インフルエンザ予防接種補助事業の拡大

季節性インフルエンザ発症者を抑制し、新型コロナウイルスと同時流行を防ぐため、これまで生後6か月～中学3年生までの季節性インフルエンザ予防接種に対し助成を行っているが、本年度は高校3年生まで拡大する。

接種期間 令和2年10月1日～令和3年1月31日
96万円

・保健センター感染予防対策整備事業

保健センター（総合福祉センター4階）における、母子等の健診受診者感染予防対策として空気清浄機及び清掃機器等を整備する。

160万円

・健康診断感染予防対策事業

市立中央病院における特定健診等受診者の健診結果は診断結果の説明や受診に繋げるため対面にて手渡ししているが、新型コロナウイルス感染防止対応として本年度は結果表を郵送する。

330万円

・小児救急医療事業の追加負担

山梨県及び県内の市町村で運営している小児救急医療事業については、新型コロナウイルスの影響により患者数が当初見込みより大幅に減少したため、診療収益が減収し運営費用が不足する見込みとなったことから、県及び県内市町村が追加負担する。

236万円

・がんばろう大月・子育て支援特別手当支給事業【追加】

国の特別定額給付金の支給対象から外れた新生児を対象に大月市子育て支援特別手当10万円を支給する事業の対象児童の生年月日を令和3年3月31日まで延長対象児童 令和2年4月28日～令和3年3月31日生まれ
申請期限 令和3年4月15日

150万円

・消防署仮眠室整備

消防隊員・救急隊員間の感染予防対策として、消防署の仮眠室を改修し、個室化を図る。

150万円

・貸出図書感染防止対策事業

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、図書館利用者や、より安心して図書に触れていただく環境確保のために図書除菌機を整備する。

288万円



1,003万円

・消防職員用空気呼吸器整備

現在、共有使用している空気呼吸器の面体（マスク）を個人専用にする事で、職員間の感染防止の徹底を図る。

132万円

100万円

・総合福祉センター空調更新事業

福祉センターが福祉避難所として開設されることから、空調設備を整備する。

3階 総合福祉センター 1階 3階

・学力向上支援スタッフ追加配置事業

新型コロナウイルス感染症対策のために、多様な地域人材を学力向上支援スタッフとして小中学校に追加配置し、児童生徒の学力向上に資する人的支援体制の整備を図る。

864万円

・スクール・サポート・スタッフ配置事業

新型コロナウイルス感染症対策のために、多様な地域人材をスクール・サポート・スタッフとして小中学校に配置し、教員の負担軽減を図る。

288万円

もの。

◎山梨県東部広域連合の解散の件

◎動産購入の件（小中学校ICT機器購入）

◎動産購入の件（児童生徒1人1台端末購入）

常任委員会の様子

Q 東部広域連合を解散し、今後、3市3村の連携は任意の組織で行いたいの話があったが、どのような状況か。

東部広域連合が解散します

令和3年3月31日をもって山梨県東部広域連合を解散することに係る地方自治法第291条の10第1項の規定による協議について、同法第291条の11の規定により、議会の議決を経るもの。

市内小中学校にICT機器を整備します

ICT教育推進のため、市内小中学校に65型電子黒板や指導者用ノートパソコン等ICTに関する機器を購入しようとするもの。

児童生徒に1人1台ノートパソコンを整備します

GIGAスクール構想に基づき小中学校の情報機器の整備として、児童生徒に1人1台のノートパソコンを購入しようとするもの。

総務産業常任委員会

東部広域連合解散の件について

Q 周りの市も含め、人口が減少して行く中で、広域連合の必要性は求められていると考えます。長野県など連合がうまく機能している事例を参考にしながら議論を重ねて行く必要があると考えますが、いかがか。

A 事務に関しては、機関の共同設置という方法で行う予定です。また、各市の課題を持ち寄り、情報交換をしながら広域化をして行かなければならないとの考えから、今後の課題解決に向けて3市3村で新たな任意の協議会を立ち上げようと考えています。

◎山梨県東部広域連合の解散に伴う財産処分

令和3年3月31日をもって山梨県東部広域連合を解散することに伴う財産処分について、地方自治法第291条の13の規定において準用する同法第289条の規定による協議について、同法第291条の11の規定により、議会の議決を経る

- 1 購入物件
小中学校ICT機器（電子黒板、指導者用ノートパソコン、書画カメラ、カラーレーザープリンタ等）
- 2 数量 1式
- 3 納入場所 初狩小学校ほか6校
- 4 購入予定価格 42,405,000円
- 5 購入相手方 株式会社YSKeicom
- 6 契約の方法 指名競争入札

- 1 購入物件 ノートパソコン
- 2 数量 1,038台
- 3 納入場所 初狩小学校ほか6校
- 4 購入予定価格 31,308,156円
- 5 購入相手方 トピアス情報機器株式会社
- 6 契約の方法 山梨県下19市町村の参加による共同調達事業として一般競争入札

【議員問討議について】

東部広域連合解散の件について、議員問討議が行われました。人口減少に伴う事務の効率化の重要性や定住自立圏に対応できないことから必要性を求める反対意見、自治体の間の意見の相違、係るコストの面からの賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数により可決されました。

林業振興費について

Q 林業振興費として森林の整備費等が予算計上されていますが、具体的な事業内容は。



A 来年度以降の森林環境

譲与税の用途を研究する中で、市内の民有林を選定し、間伐材を伐採し搬出、納入するまでの経費の調査を行うために予算計上をしています。

されている方への対応状況は。

A 申請件数としては1万330世帯から申請があり、給付額として23億4,750万円を支給しています。支給率は99・74%となります。DVの関係は2件ありましたが、本市で給付したということではなく、避難先の他の自治体から支給をしたということになります。

総合福祉センターの工事について

Q コロナウイルス対策として位置付けられていますが、この時期に改修工事を行う理由は。

A 総合福祉センターの3階が福祉避難所となつていきますので、新型コロナウイルスの防止対策として、1階から3階の全熱交換器（換気扇）の設置と空調設備屋上にあります室外機の入替え工事を、新型コロナウイルスの臨時交付金を活用して行います。

ふるさと教育推進事業について

Q 教員OBの方を採用するということですが、採用人数と報酬は。

A ふるさと教育支援事業のうち、学力向上支援スタッフ、スクールサ

議会運営委員会

正副委員長の互選について 相馬保健委員長が辞任願が提出され、新たに奥脇一夫副委員長が委員長に、副委員長に萩原剛委員が就任しました。

◆お詫びと訂正

市議会だより159号の5ページに掲載した「社会文教常任委員会」のA（答弁）の中に、資本金1億円の法人が約400社となつておりますが、正しくは、資本金1億円以下の法人が約400社です。お詫びして、訂正いたします。



副委員長 萩原 剛

委員長 奥脇 一夫

社会文教常任委員会

委員長の互選について

山田政文委員長の辞任願が提出され、新たに相馬力委員が委員長に就任しました。

委員長 相馬 力



Q 特別定額給付金の最終の給付状況と配偶者からの暴力を理由に避難

特別定額給付金について

令和元年度決算を認定！

・決算審査と予算審査の違い【議会の役割】

税金の使い方を決めるのが予算審査、決算審査は使われた結果を検証し、今後の予算編成や行財政運営の改善に役立てる大切な意義があります。

「決算状況の詳細は広報おおつき10月号をご覧ください」



副委員長
安藤 久雄



委員長
西室 衛

令和元年度決算審査特別委員会 委員長報告

付託されました8案件を審査するため、9月23日、24日、25日の都合3日、委員会を開催しました。

審査の経過としましては、監査委員から決算の概要について説明を受けた後、課等部署別の審査とし、担当課長等から説明を求め、慎重に審査を行いました。

審査結果については、計数に誤りはなく、地方自治法等関係法令に基づく処理が適切に行われていることが確認されました。

審査終了後、各決算認定別に採決を行い「認定第1号 令和元年度大月市一般会計歳入歳出決算認定の件」から「認定第8号 令和元年度大月市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件」まで、全会一致で原案のとおり認定するものと決しました。

審査の過程で、各委員から多くの意見が出されましたが、その内、主なものを申し上げますと、まず1点目は、契約についてです。

令和元年度の契約状況によると、業務委託契約及び工事に係る契約についての、市内業者への発注率は84%と高い状況であります。大型事業においては、低い状況であるため、JV方式を取り入れるなど、市内業者が参入しやすい発注方法の検討を求めます。

また、議会提出により制定した「大月市内循環型経済推進条例」において、市内の事業者の振興を図ることが明記されております。

職員一人一人が、市内の事業者に出来ることは、市内に発注することを原則とし、取り組んでいただくよう強く求めます。

2点目は、ふるさと納税についてです。ふるさと納税は、本市の貴重な財源であり、令和元年度は約3億9千万円と大幅な増額となりました。

これは、担当課等における努力の成果であります。この状況を更に延ばすよう、引き続き新たな返礼品の開発を行うなど、創意工夫を重ね増額に向けて努

めていただきたい。

3点目は、消防職員の待遇と職場環境の整備についてです。本市の消防職員に支給されている手当は、近隣他市に比べ金額が低く、また、休日手当については、本市は支給されていない状況です。

このような状況も影響して、消防職員の確保が難しい中でもありますので、他市の状況に見合った手当の支給を求めます。

また、社会的に女性の活躍が推進される中、消防職においても女性が採用され、活躍されております。本市もこのような状況を推進するために、消防職員の職場の環境整備を求めます。

以上、これらの意見を今後の行政運営に反映させることをお願いし、誠に簡単ではありますが、決算審査特別委員会の報告とさせていただきます。

決算審査特別委員会における主な論点 Q & A

契約事務関係について

Q 大月市内事業者の工事落札率はどうか。



A 工事の契約件数では84%、契約金額では約27%となります。

《意見・要望等》
工事によっては、技術等も含めて総合的な判断のなかで落札が決まるということも有り得るが、市内循環型経済推進条例を定めている主旨を踏まえていただきたい。

庁舎等の電気料削減について

Q 電力供給の見直しにより電気料が17%削減しているが。



A 昨年度、見積りを取り直しまして、既に見直しをしている市民会館以外の電気料を契約し直しました。その結果17%の削減、金額にして300万円の節減とすることができました。

ふるさと納税について

Q ふるさと納税の返礼品経費は。



A 経費としては5割となり、内訳は返礼品3割、委託費1割、配送費1割になります。

《ふるさと納税の実績》
・平成30年度 約7千万円
・令和元年度 約3億9千万円

大月賑岡線拡幅について

Q 道路単独で使える有効な国庫補助事業はあるか。また、事業スケジュールは。

A 今年度、街路補助事業（無電柱化）（補助率55%）が創設されて、補助率が有利な補助金となっています。南北自由通路の整備時期を見直すことになったことに伴い、南北自由通路と切り離して市道拡幅事業を進めるため、この街路事業を検討しています。事業スケジュールは、令和3年の事業採択を目指しています。標準事業期間は7年であり、令和9年度に完成するスケジュールを計画しています。

収納率向上について

Q 収納率の向上に努めているが、どのような対策を進めているのか。



A 山梨県地方税滞納整理推進機構設立後、それまでの市民の希望に沿った月々の納付額対応から、現年課税分を納付し、さらに滞納繰越分を減らす対応となりました。職員の市民に対する対応については、親切に、丁寧な対応が求められますので、担当内でも指導しているところです。

消防職員の待遇改善について

Q 休日手当の支給状況は。



A 山梨県内の消防本部では、大月市のみ支給されていません。

《意見・要望等》
他市の状況に見合った手当の支給を求めつつ、職場環境の整備についても、消防署の事務室が手狭であり、総務管理課・企画財政課と協議し、早急な改善を求める。

代表質問・一般質問

ズバリ!

市政を問う

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

代表質問

(1) 西室 衛議員 (大月改新の会&公明) 10 ページ

- ①広域行政への考えは
- ②大月駅北側のホテル開業に伴うさつき通りの活性化策は

(2) 山田政文議員 (大月改新の会&公明) 関連質問 11 ページ

- ①グリーンワーケーション大月研究会について問う
- ②今後取り組む新型コロナ対策は何か

(3) 安藤久雄議員 (大月改新の会&公明) 関連質問 12 ページ

- ①プール跡地へ老朽化した富浜公民館の改築を提案する
- ②医療従事者、また介護関係者等の子弟に対していじめ等はないのか

(4) 鈴木基方議員 (山と川の街大月) 13 ページ

- ①県内観光のハブ拠点として、甲州市との連携を
- ②広域で地域医療と機構改革を

一般質問

(5) 藤本 実議員 (日本共産党 所属) 14 ページ

- ①コロナ禍での教育、教育長の基本認識は
- ②速やかに大月市庁舎建設検討委員会を設置すべき

(6) 棚本晃行議員 (山と川の街大月) 15 ページ

- ①インフルエンザワクチン接種について市の考えは
- ②遺族の負担軽減を図る手続の一元化と専用窓口の導入を提案する



市議会のページは
コチラから

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録(12月上旬発行予定)を図書館及び市のホームページ(<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>)で閲覧することができます。

賛成○ 反対● 退席— ※鈴木章司 議長を除く

種別	議案番号	議員名 案 件 名	萩原	相馬	奥脇	小泉	西室	小原	藤本	山田	相馬	鈴木	安藤	志村	棚本	結 果
			剛	保政	一夫	二三雄	衛	文司	実	政文	力	基方	久雄	和喜	晃行	
補正 予算	第40号	令和2年度 大月市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	第41号	山梨県東部広域連合の解散の件	●	○	●	●	○	●	○	○	○	●	—	○	○	
	第42号	山梨県東部広域連合の解散に伴う財産処分の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	
	第43号	動産購入の件(小中学校ICT機器購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
決算 認定	認定第1号	令和元年度 大月市一般会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第2号	令和元年度 大月市大月短期大学特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第3号	令和元年度 大月市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第4号	令和元年度 大月市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第5号	令和元年度 大月市下水道特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第6号	令和元年度 大月市介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第7号	令和元年度 大月市介護サービス特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第8号	令和元年度 大月市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
選挙	選挙第7号	野脇恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	当選
請願	請願第2号	教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
意見書	意見書案第1号	教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	意見書案第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※ 議案第41号については、賛成と反対が同数のため議長裁決により可決となりました。

※ 意見書の内容につきましては、大月市のホームページをご覧ください。



大月改新の会&公明
西室 衛

Q 広域行政への考えは

A 効率的な行財政運営が図られる

問 今後の広域行政への取組について伺います。

市長の県東部広域連合解散および、広域行政への考えは。

2点目に、広域行政を進めるための県東部広域連合に代わる組織の構築の考えは。

答 市長

広域行政は、できるだけ多くの団体が共同で事務を執り行うことで、効率的で大きな効果が上がるものと考えています。

本市の広域行政に対する基本的な考え方は、各種事務や業務について、それぞれの市村の意見やアイデアを持ち寄り、研究し、広域で共同事務を進めることで

効率的な行財政運営が図られ、経費の削減につながるものであり、構成市村にとって互いに利益が受けられるものであります。

次に、広域連合に代わる組織の考えについてです。今回の東部広域連合の解散に当たり、市民サービスや行政運営に支障がないよう、解散後においても、3市3村の枠組みで機関等の共同設置という形で事務を継続していくこととしています。今後も引き続き人口減少、少子高齢化社会に対応するため、任意の協議会組織を立ち上げ、広域行政の在り方や事務の効率化などについて、3市3村で協議や情報交換をしていくこととしています。

Q 大月駅北側のホテル開業に伴うさつき通りの活性化策は

A 補助金により空き家、空き店舗の解消を進める

問 地域活性化について伺います。ホテル開業に伴うさつき通りの活性化策は。

2点目に、市営住宅の全体の改築計画は。

答 産業建設部長

大月市立地適正化計画では、大月駅周辺の将来構想イメージとして、さつき通りをはじめとした昔ながらの小道を生かして、歩いて買物や飲食ができる歩行環境の創出を図ることとしており、住民主体による商店街の再生等でこれに対応してまいりたいと考えています。そのための施策の1つとして、空き店舗活用事

業補助金により空き家、空き店舗の解消を進めることとしております。

次に、市営住宅の全体の改築計画についてです。計画では、花咲団地、浅利団地、横吹団地、アツクメ団地、石動団地、恋路団地、みどう団地は今後も維持管理の対象とする団地とし、長寿命化に努めています。平屋の簡易耐火構造の住宅は用途廃止の対象とする団地としており、特に駒橋団地につきましては建て替えの対象とする団地としており、PFI導入基本構想を策定し、事業を開始したところとです。



大月改新の会&公明
山田 政文

Q グリーンワーケーション 大月研究会について問う

A 新しい働き方、暮らし方を提案し、関係人口の増加や活性化をめざします

問 研究会の目的、組織、さらに検討結果をいかに実現していくのか、お示しください。

山梨県と二拠点居住をテーマとしたデュアルベースタウン研究会を設立したことに併せ、市独自の検討を

開始することとしました。

テレワークなどの普及により、ビジネス環境の変化や首都圏から地方への移住など、本市が持つ首都圏へのアクセスの良さや豊かな自然環境などの魅力を発信してまいります。この研究会では、庁内から横断的な視点で職員を選出し、研究を行うっていくものとしてい

ます。

また、外部人材をアドバイザーとして委嘱し、提案をいただきながら、本市における仕事と余暇の充実を図ることができると期待しています。現時点で成果を示すことはできませんが、ニーズ調査などの実施により、目標設定を行い、大月との二拠点居住から始まり、順次施設整備を行う中で、移住につながるような成果を目指してまいります。

実現についてですが、例えばお試し移住や空き施設の整備なども同時に進めていく考えです。また、市内に拠点を整備する法人や個人に対し、改修費用の一部を助成するなどして推進を図ります。

最終的には、東京一極集中から地方での新しい働き方、暮らし方を提案し、関係人口の増加や地域の活性化につなげていこうと考えています。

※グリーンワーケーション

Q 今後取り組む新型コロナウイルス対策は何か

A 感染拡大に備えた事業を中心に実施する

問 新型コロナウイルスについて質問します。今後取り組む対策の内容と財源についてお答えください。

答 市民生活部長

これまで生後6か月から中学3年生までの季節性インフルエンザ予防接種に対し助成を行っていましたが、本年度は高校3年生まで拡大するため96万円を計上します。

さらに、感染拡大防止のため手指消毒液、マスク、衛生用品等の備蓄事業に3

とは
グリーン（自然）ワーク（仕事）バケーション（余暇）を合わせた造語です。

30万円を、消防署の仮眠室を改修し、個室化を図る

消防署仮眠室整備事業に1,000万円を、図書館利用者が安心して図書に触れていただくために図書除菌機の整備を行う事業に100万円を、総合福祉センターが福祉避難所として開設されることから、空調設備の整備を行う事業に3、300万円を計上しています。

これらの財源につきましては、国の地方創生臨時交付金を充当し、今後の感染拡大に備えた事業を中心に実施する予定です。



大月改新の会&公明
安藤 久雄

Q プール跡地へ老朽化した富浜公民館の改築を提案する

A 公民館及び出張所の建設地として検討している

問 鳥沢小学校プール解体後の跡地利用として、プール跡地へ老朽化した富浜公民館の改築を提案するが、市の考えを伺います。

答 教育次長
鳥沢小学校プールの改築場所につきましては、検討

既に広報等で公表しておりますとおり、認定こども園用地としまして民間事業者に貸付けを行う計画となっております。



富浜公民館及び富浜出張所の建設予定地

Q 医療従事者、また介護関係者等の子弟に対していじめ等はないのか
A 児童生徒からそのような訴えが今までにない

問 新型コロナ対策について、小、中学校において医療従事者、また介護関係者等の子弟に対していじめ等はないのか、教育現場の現状を伺います。

答 教育長
市内全校の学校長からの聞き取りによると、すべての学校において、児童生徒からそのような訴えが今までにないこと、児童生徒集団の中にも、そのような空気がないこと、また保護者からもそういった相談や情報が寄せられていないというものであります。



山と川の街大月
鈴木 基方

Q 県内観光のハブ拠点として、甲州市との連携を

A まずは観光分野で事務レベルの協議を検討したい

問 大月からなら県内各地区に日帰りできるということも強みに、県内観光のハブ拠点としての地位を確固たるものとすべきである。

答 産業建設部長
滞在価値創出事業において、本市及び近隣市町村の情報を取り扱い、本市の魅力と情報の発信を併せて行う総合的な拠点として観光案内所の改修を実施したと

再質問

ことです。まさにハブとしての役割を意識して整備したものです。

問 自治体間協定について、隣の甲州市と話を始めてはいかがか。

答 産業観光課長

甲州市との連携につきましては、自治体間協定を結ぶ前に、まずは観光分野での連携が図れないか、事務レベルでの協議を検討したいと考えていますので、鈴木議員にもお力添えをいただければと考えています。

Q 広域で地域医療と機構改革を

A 議会や市民の皆様の声を知りながら、検討している

問 地域医療を広域で行っていく必要があると考えていく必要があるか。

答 総務部長

今後さらに人口減少と高齢化が進み、大月市内だけでは医療、介護、生活支援などの日常生活を支えるサービスが確保できなくなる場合には、広域化について検討していくことも必要であると考えています。

再質問

問 本市として在宅医療にどのような取り組みをいくのか。

答 保健介護課長

在宅医療に対するマンパワーは十分とは言えない状況ですが、関係機関が連携し、住み慣れた地域でいつでも暮らしていけるよう、検討を重ねてまいります。



藤本 実
日本共産党 所属

Q コロナ禍での教育、教育長の基本認識は

A 実施可能な教育活動を安易に減らさず、慎重かつ丁寧に行う

問 今、子どもたちをゆつたり受け止めながら、学びとともに人間関係の形成、遊びや休息をバランスよく保障する柔軟な教育が必要ではないでしょうか。

答 教育長 児童生徒の教育を受ける権利を保障していくためには、学校の教育活動における感染及びその拡大のリスクを可能な限り減らした上で、保護者の理解を得つつ、実施可能な教育活動を安易に減らすことなく、慎重かつ丁寧に行うことがまず基本となります。あわせて大切なことは、このコロナ禍が児童生徒一人一人に与える

不安、つらさ、やりきれなさなどに精いっぱい想像力を働かせて寄り添うことです。まずは学びの保障です。

また、学校は人間性や社会性の育成を担う役割もあり、その意味で学校行事や児童会、生徒会行事も大切です。一つ一つの行事の教育的意義と感染リスクを減らすこと、また児童生徒にとってどれだけ楽しみなものであるかの3者のバランスをよく考えながらの実施について検討するように指導しています。



運動会のテントではマスク着用

Q 速やかに大月市庁舎建設検討委員会を設置すべき

A 市民等のご意見をいただける組織をつくった上で慎重に検討する

問 市庁舎建設は、持続的な地域経済社会の基盤づくりでもあります。そのためには、地域住民の計画づくりへの参加と合意形成は不可欠であり、これまでの検討の進め方を大きく改めて、計画段階から検討委員を公募するなど市民参加を徹底し、営利企業等に依存するやり方は抑制する必要がありますと考えます。

答 市長 官民連携報告書は、民間企業の提案報告書であり、民間企業からの提案も受けながら、災害にも強く、市

民が安心して利用できる庁舎の建設に向けて庁内で研究をしているところです。老朽化し、耐震性の課題を抱えた本庁舎の更新は大きな課題であると認識をしています。新型コロナウイルス感染症の終息が見えず、不安定な経済状況ですが、今後庁内での意見を取りまとめた整備方針により、整備構想の策定を進める予定としていますので、市民の皆様や学識経験者、建築の専門家などの多くのご意見をいただけるような協議会や委員会などの組織をつくらせて慎重に検討してまいりますので、議員各位とご協力をお願いします。



山と川の街大月
棚本 晃行

Q インフルエンザワクチン接種について市の考えは

A 予防接種の助成の拡充、周知等を行い、感染拡大の抑制を図っていく

問 季節性インフルエンザの流行期を迎える中で、新型コロナウイルス感染症との同時流行も懸念されます。インフルエンザワクチンの接種についての市の考えを伺います。

答 保健介護課長

例年季節性インフルエンザの流行期に多数の発熱患者が発生しており、本年度も同程度の発熱患者が発生することを想定して対策をする必要があるとされています。

季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の症状は類似しており、見分けることは困難であるこ

Q 遺族の負担軽減を図る手続の一元化と専用窓口の導入を提案する

A 手続する方の負担軽減を目指し検討していく

とが指摘されていますので、子供のインフルエンザ予防接種の助成を高校3年生まで拡充し、感染拡大の抑制を図ってまいりたいと考えています。

また、インフルエンザワクチンの接種が例年より増

問 季節性インフルエンザ流行期に備え、相談、検査、診療体制の整備を

問 本市の児童虐待の状況は

問 児童虐待防止にどのように取り組むのか

問 住民票取得などのオンライン化、コンビニ交付を進める考えは

問 多様なソーシャルメディアを活用した情報発信の強化を

問 クラウドソーシング事業者と連携した働く機会の創出を

答 市民生活部長 ご親族の負担を軽減する

ため、各課の担当職員を中心とした窓口簡素化検討会を令和2年8月26日に発足し、手続に来庁したご親族の負担を少しでも軽減することを目指し検討を始めています。

市長からもお悔やみコーナーの検討意向があり、窓口体制を含め、必要な手続を1か所で行えるお悔やみコーナーの設置が可能な検

その他の質問

討してまいりたいと考えています。

議会日誌

あなたも
本会議を傍聴しませんか

8月（後半）

18日	大月市議会議員定数等調査特別委員会 議員定例懇談会
25日	議会運営委員会

9月

1日	全員協議会 令和2年第4回市議会定例会 開会 決算審査特別委員会
10日	総務産業常任委員会 市議会広報委員会
11日	社会文教常任委員会
17日	代表質問・一般質問
23日	決算審査特別委員会
24日	決算審査特別委員会
25日	決算審査特別委員会 総務産業常任委員会
29日	議会運営委員会 全員協議会 令和2年第4回市議会定例会 閉会

10月

16日	大月市議会議員定数等調査特別委員会 議員定例懇談会
22日	臨時全員協議会
26日	令和2年第2回山梨県後期高齢者医療広域連合議会定例会
27日	山梨県市議会議長会第264回定期総会
30日	市議会広報委員会

11月（前半）

5日	全国市議会議長会第109回評議員会
10日	令和2年大月都留広域事務組合議会 11月定例会

議員はあいさつ状（年賀状など）を出すことが公職選挙法で禁止されています。
（自筆による答礼は除く）

市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様が親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様の貴重なご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。
詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

※コロナウイルス感染拡大の状況により自粛をお願いする場合があります。

12月定例会の日程（予定）

- 開会日 11月27日
- 代表質問 12月15日
- 一般質問
- 一般質問（予備日） 12月16日
- 閉会日 12月18日

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

9月定例会後に、市職員による公金横領が発覚し、行政の信頼が地に落ちる事態となった。今後、市民代表である市議会が、原因究明と市の再発防止策を一つ一つ厳しくチェックすることが求められている。
罪を償うのは当然だが「罪を憎んで人を憎まず」という孔子の教えを心に留めたい。個人の問題とせず、組織としての再発防止策の徹底と確認こそ肝心だと思う。（担当 藤本実）

Editorial note

発行 大月市議会
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp

市議会
広報委員会

委員長 鈴木 基方
副委員長 藤本 実
委員 奥脇 一夫
委員 安藤 久雄
委員 志村 和喜
委員 棚本 晃行



この市議会だよりは、環境保護のため、再生紙・植物性インキを使用しています。